

巻頭特集じゃー

80年以上続く、  
「あきない」祭り

だから今年も、

えびす講祭りに

行くのです。

毎年勤労感謝の日に開催される「甲府えびす講祭り」は、今年83回目を迎えます。戦前から甲府の町の人々に親しまれ、時代とともに変わり続けてきたその様子を文献や写真とともに懐古。甲府の市民感情に寄り添いながら続いていく祭りや商店街について思うことを、甲府商店街連盟専務理事の河野勇一さんに聞きました。



不況にあえぐ商業界に  
「大売り出し」で風穴を

日本には一年を通じて様々なお祭りがあります。「日本のお祭り」は、人々の生活と密接に繋がっていて、祈りや感謝、願いが集約されたもの。だからこそ、何のためのお祭りなのか、何を願うお祭りなのかという「祭り」の意味や由来、歴史を知ることが、当日をより楽しく過ごすために大切なことです。

11月23日は甲府えびす講祭りの日。80年以上続くこのお祭りは、「不況から脱却し、町に活気を」と誕生したお祭りです。全国的に長引く不況に見舞われた昭和初期。甲府もその影響を受けていました。

一方、農村では秋になると収穫した農産物から代金が入り、冬に向けて購買意欲が高まります。そこで、消費都市甲府を舞台にして、農村部からの買い物客に向けた大売り出しをしようと甲府商店街連盟は動き出します。顧客に対する日頃の感謝を込めたサービスで

あり、不況にあえぐ甲府の町に活気を取り戻すために講じた手段でした。

「ハンバーグだったらあの店、お饅頭だったらあそこよね」



「昔はお正月の準備であつたり、一年に一度甲府の町に来て贅沢ができる日という認識であつたり、えびす講祭りは特別でした。楽しみで眠れない人もいたというほどです。けれど今は時代が変わり、大型スーパーマーケットに行けば一年中なんでも買えるし、フア

受け継がれてきた祭りを守り  
次世代へと伝えていく

スタンブラリーやくじ引きのほか、百貨店がえびす講祭りに合わせてイベントを開催するという今年のえびす講祭り。古き良き時代の面影を残す商店街は、これから普段とは異なる賑わいを見せます。

「発見を楽しんでほしいですね。昔を思い出して、『まだこのお店ここにあるんだ』と気付くのもいいですし、『こんなところにこんなお店があるんだ』というのもいい。何か好きなものを見つけて、人に話してほしいです」(河野さん)  
祭りは地域の絆を深め、人との結びつきを強くします。見る、買う、食べる、探す。さあ、今年もえびす講祭りに出かけてください。

過去の賑わい



2016年賑わい



### 昔も今も… 甲府の町を楽しめるお祭り

昔はお祭りを2日間開催していた頃もありました。郊外から臨時バスが出るほど盛況で、本当に物が良く売れた時代があつたんです。今は「祭り(イベント)=購買」にすぐ結びつく時代ではなくなりましたが、お祭りに来ることで『町の雰囲気を楽しんでほしい』『町を好きになってもらいたい』そんな気持ちですね。



今年で83回目、戦争で途絶えた時期もありましたが、甲府中心街を家族みんなで一日ゆっくり楽しんでもらいたいと今年も色々企画を練っています。地元だけでなく、他県からの参加もある「みこし渡御」も圧巻ですし、甲府商工会議所が同時開催する「グルメ屋台」なども目玉です。各商店街や近隣大型店もイベントを予定していますので遊びに来てください。

## 甲府えびす講祭り

2017年11月23日(木・祝)

詳細は…TEL.055-233-2241(主催/甲府商店街連盟)

#### 【みこし渡御】

歴史公園を11:30に出発、祭りに華を添えます!

#### 【大道芸・キャラクターショー】

#### 【商店街・大型店イベント】

- ◆各店舗にて協賛フェア等開催予定◆
- ・西白木商工発展会・朝日通り商店街連盟・セレオ甲府・山交百貨店
- ・丸の内八番街商店会・甲府城南商店街振興組合・岡島百貨店
- ・ダイヤコリド・かすがも〜・銀座通り・春日あべにゅ商業会・ベルメ桜町

#### ～甲府商工会議所主催・同時開催イベント～

ご当地グルメ屋台やステージイベント、そして中心商店街の自慢の逸品が詰まった毎年大人気の「えびす講福袋」の販売など盛りだくさん!かすがもーのバラカ駐車場特設会場にてお待ちしております。

※各会場ともに専用駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。駐車場情報 [http://genkinamachi-kofu.com]

